

減災館の3つの機能

研究推進の場

耐震実験のさまざまな設備を持つ減災館をフィールドとして、分野を越えた研究者が連携して減災研究を進めます。

備 究

地域の備え実現の場

防災を担う人づくりを推進して地域協働を進め、大規模災害に備えます。

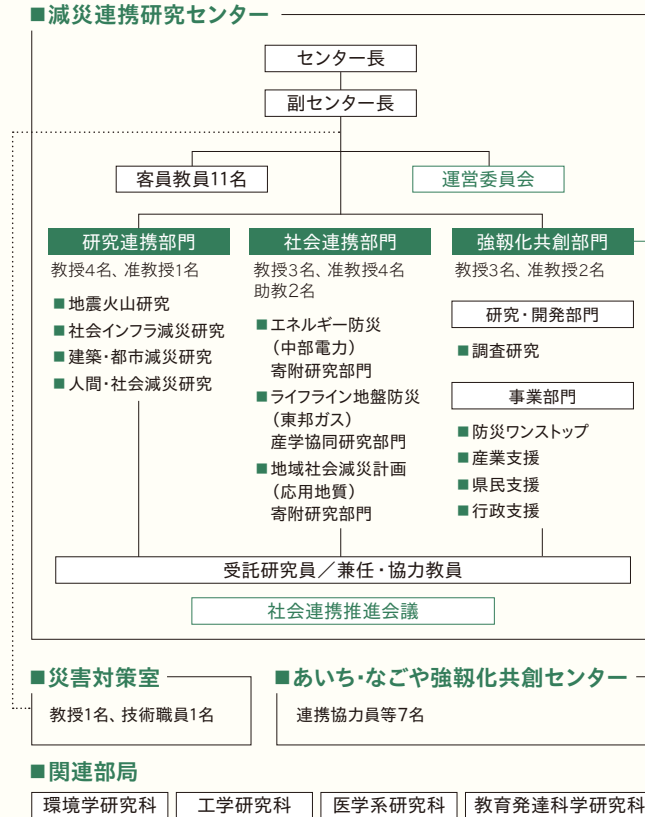
さまざまな展示を通して市民とともに日頃の備えを学び、実践していきます。

自家発電や太陽光発電、備蓄品を常備します。

いざ、その時の地域の対応拠点の場

巨大災害発生時には、大学や地域の災害対応の一大拠点となります。

組織



名古屋大学
減災連携研究センター | 災害対策室
あいち・なごや強靱化共創センター



〒464-8601 名古屋市千種区不老町 減災館
TEL 052-789-3468 FAX 052-789-5023

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/>

[減災館 開館時間]

火～土曜日 1:00pm～4:00pm (第2・4火曜、祝日を除く) ●入館 3:30pmまで

- 学内行事などで休館となる場合があります。HPにて開館スケジュールをご確認ください。
- 1階、2階、免震ギャラリーが見学いただけます

名古屋大学

最先端の減災研究で、
地域と市民をつなぎ、
いざ、その時に備えます。



減災館

Disaster Mitigation Research Building

名古屋大学
減災連携研究センター | 災害対策室
あいち・なごや強靱化共創センター

「減災」の最先端が、ここに集結

減災社会の実現

屋上

○屋上実験室

3・4F 研究

○プロジェクト室
○教員室

2F 調べ

○調べ学習の減災ライブラリー
○災害対策室

1F 学び

○体感・体験の減災ギャラリー
○減災ホール

免震層

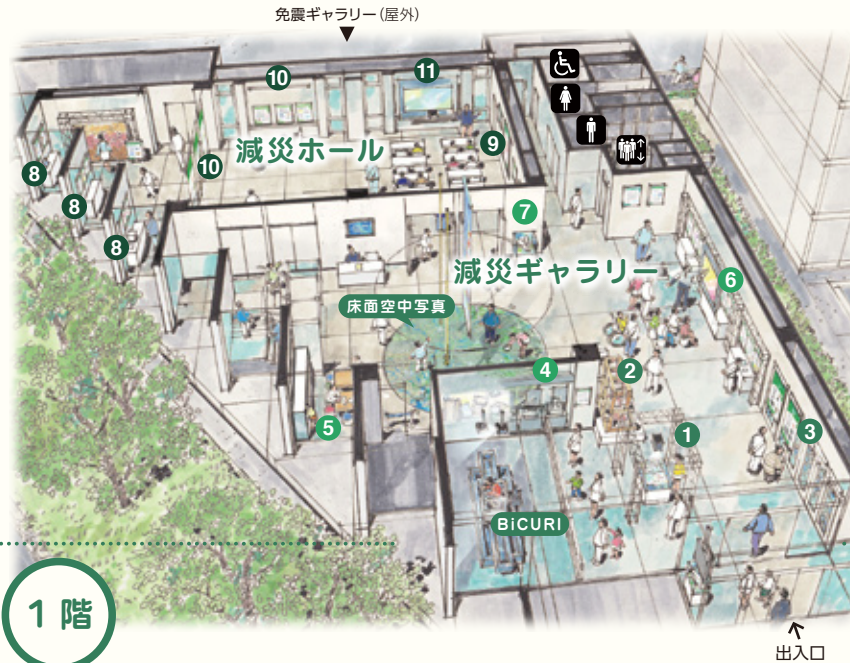
○免震ギャラリー

災害に対する事前の対応をしっかりと、起こり得る被害をできるだけ軽減する――。

減災館には、そのために地震や防災の研究者が集結し、全館が建築耐震技術の開発と実験の場となっています。平常時は、研究と教育、各種セミナーで市民をつなぎ、大規模災害発生時は各種機関と連携しながら、大学や地域の災害対応の拠点となります。

減災館へようこそ

セミナー・ワークショップ、体感・体験による市民に開かれた学びの場です。



1階

振動再現装置 BICURI

高層建物の中で巨大地震に遭遇した時の揺れを映像とともに振動台を使ってリアルに再現

床面空中写真

名古屋市と周辺市町村を空から見たリアルな写真を床面展示

減災ギャラリー

各種の教材で、地震被害を体感し「減災」への意識を高めていきます。「げんさいカフェ」などイベントも行われます。

減災ホール

防災アカデミーや各種講演会を実施します。

展示 【家庭防災】

➔ ① 3D地形模型

東海地域の立体地形模型にハザードマップ等デジタル情報を融合

② 木造建物耐震補強の実物展示

③ 家庭の防災

家具固定の説明や備蓄品の実物展示

【防災基礎】

④ ぶるるコーナー

建物や地盤の揺れ、耐震化について体感できる模型教材コーナー

⑤ キッズ工作コーナー

工作や展示で学べる子ども向けコーナー

⑥ 防災・減災の基礎

防災の科学的基礎知識を紹介(被害想定、津波、液状化、経済、情報、心理、都市計画)

⑦ ライフライン防災コーナー

電気、都市ガスの防災についてビデオ展示

【防災応用】

⑧ 防災・減災の最新技術

減災研究のさまざまな研究や技術を紹介(地殻変動、活断層、地盤・液状化)液状化の痕跡の実物を展示

屋上

大振幅長周期の揺れを再現する実験施設

2階



地震災害に関する歴史資料、古地図、ビデオ、新聞記事、各地のハザードマップなどが充実。学習スペースで自ら調べ・学ぶことができます。

⑨ 南海トラフ海底構造立体地図

赤青メガネをかけると飛び出る大きな海底図

⑩ 愛知の災害史

愛知県の災害に関する年表・石碑写真を展示

⑪ 地震の発生確率

地下



免震装置の実物を見てみよう。免震ギャラリー

いざという時に災害対応拠点となる減災館は、最新の免震技術で高い安全性を確保。その装置が見学できます。建築の耐震・免震・制振が学べます。